

1. 評価結果概要表

平成19年 12月 23日

【評価実施概要】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 2070500448 |
| 法人名 | 宗教法人 天理教市丸分教会 |
| 事業所名 | グループホーム陽気 |
| 所在地 | 長野県飯田市鼎下山270-1 (電話) 0265-23-4552 |

| | | | |
|-------|---------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室 | | |
| 所在地 | 長野県松本市深志3丁目7番17号 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年11月23日 | 評価確定日 | 平成20年1月10日 |

【情報提供票より】(19年 11月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | | |
|-------|--------------|--------|-------|---------|
| 開設年月日 | 平成 12年 4月 1日 | | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 | |
| 職員数 | 10 人 | 常勤10人 | 非常勤0人 | 常勤換算10人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 軽量鉄骨造瓦葺き2階 造り |
| | 2 階建ての 1.2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------|----------------|---------|-------|
| 家賃(平均月額) | 50,000 円 | その他の経費(月額) | 光熱費含む 円 | |
| 敷 金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり | | 1,000 円 | |

(4) 利用者の概要 (11月 1日 現在)

| | | | | | | |
|-------|-----|------|------|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 名 | 女性 | 9 名 | |
| 要介護1 | 2名 | 要介護2 | 1名 | | | |
| 要介護3 | 1名 | 要介護4 | 5名 | | | |
| 要介護5 | | | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 | 82 歳 | 最低 | 72 歳 | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------|
| 協力医療機関名 | 健和会病院・蟹江医院・久保田歯科 |
|---------|------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

宗教法人が設立したホームで、教会が隣接しており人の出入りが多く、近辺には歯科医院や住宅が立ち並んでいる。管理者は宗教家で“困っている人に手をさしのべる”という考えから出発している。すべての人が老人になっても長寿を嘆かなくてもいいように、家庭的な生活を通して支援していきたいと、管理者家族が住み込み24時間なじみの関係を作っている。当初6人定員だったのが9人定員となり、食堂のスペースが狭い中、利用者の合意を得て居室に集まってお茶や団欒の時間を楽しむなど、独自の工夫をされており、利用者がゆったりと楽しく生活ができるように職員が取り組まれている。課題はいくつかあるが、管理者や職員が利用者に対して相手の身になって考え、様子を見ては不安のないようお手伝いしながら家族のような感じで暮らしていつもらいたいと心掛けており、今後の発展に期待が持てるホームである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-----------|--|
| 重点項目 ① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 共有空間については、職員を中心に工夫されており、管理者も改善策を検討中である。介護計画の内容については、その人らしい暮らしや楽しみごとについての目標も各自立てられている。 |
| 重点項目 ② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価については、職員全員で取り組むことが今回はできなかったもので、次回に期待したい。評価結果については、みんなで確認され業務に活かしていくことが望まれる。 |
| 重点項目 ③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議については、今後定期的に開催され、ホームの質の向上、ホームに対する理解に活かしていきたい。 |
| 重点項目 ④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族に対しては、月々の金銭管理報告等と合わせて、個人個人の様子を手書きの手紙で知らせている。訪問時に声をかけたり、介護計画については家族の意見も聞いている。今後、苦情等についても意識的に声をかけるなどして言いやすい状況をつくり、出された要望や苦情については運営に反映していかれることを期待したい。 |
| 重点項目 ④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | ホームとして地域の行事にはなかなか参加できないが、管理者が住人として自治会に加入している。散歩の時に声をかけてもらったり、近所の方に訪問して頂いている。また、地域の子どもの福祉体験を受け入れており、交流の機会をもてるようにしている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|--------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 宗教法人のグループホームとして困っている人に手を差し伸べていく考えの基に“晴天の心で陽気暮らし”を理念としている。天理教教会が隣接しており、地域の人々には理解を得ている。 | ○ | 今後、さらに地域密着型サービスの意義を職員みんなで話しあい、さらに地域との関わりのなかで安心した暮らしが継続できるためのホームをめざしていただきたい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎週月曜日に理念の読み合わせを行っている。すべての人が老人になっても長寿を嘆かなくてもよいように、家庭的な生活をめざしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の行事にはなかなか参加できないているが、管理者はグループホームを住居としており、自治会に加入して地域に溶け込んでいる。また、地域の方が訪問してくれたり、中学生等が福祉体験で来訪し交流している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価を行うのは2回目だが、平成16年以降行われていない。今回は職員に話してあるが全員で取り組む体勢が取れなかった。前回の評価を活かして、入居者の居室を借りてみんなでお茶を飲んだり余暇時間を過ごすなど工夫をしている。 | ○ | 今後、職員みんなで評価の意義を話し合い定期的に評価に取り組み、さらにサービスの質の向上に努めていくことが望まれる。 |

グループホーム陽気

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|--|--------------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進委員会については、昨年は開催し参加者においては、グループホームの理解が深まった。今年度は、開かれておらず、12月5日に開催が予定されている。 | ○ | 12月開催の会議をきっかけに、会議を復活させ、ホームの報告、情報交換だけでなく意見等ももらい、サービスの質の向上を図っていただきたい。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村の職員が来ることはないが、必要に応じてこちらから出向き連携をとっている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月、金銭管理について報告を行っている。その時に、一人ひとりの様子を書いた手書きの手紙を同封し様子を知らせている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族が訪問した時に声をかけてはいるが、意識的に意見等を聞くことはない。 | ○ | 家族や身内の訪問時に意識的に何か意見や要望はないか聞く、行事等に参加してもらった時に機会をつくるなど、意見等が出しやすいように工夫され、運営に活かしていくことが望まれる。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の大幅な異動はない。また、管理者家族と一緒に暮らしており、なじみの職員がいつもいる。 | | |

グループホーム陽気

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|--------------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修については、人員体制のこともあり十分な取り組みができていない。個人的に勉強会に行く職員はいる。職場から研修に行った時は、朝の職員会に報告している。 | ○ | 今後、外部の研修の情報を集める、内部学習会の計画を立てる等行い、管理者も含め職員全員がそれぞれにあった研修を受けられるようにされることが望ましい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 長野県内の連絡会に加入して情報をもたらしている。また、近辺のグループホームの会にも入っている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用にあたっては、家族だけでなく本人にも何回かホームに来てもらい馴染んでもらう、こちらからも訪問するなど安心して入居できるようにしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 歌を歌ったり、散歩をしたり、ゲームを楽しむなど一緒に過ごして、信頼関係をつくっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|--------------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居時に家族や利用者に希望等聞いている。入居後に聞いたことは、記録に書き足すようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎日の職員会で状況等を話している。家族にも意見は聞いており、作成した計画を確認してもらっている。しかし、カンファレンスは行われておらず、職員みんなでプランに対しての話し合いはもたれていない。 | ○ | 日常的な情報交換だけでなく、定期的なカンファレンスを行い、職員全体で介護計画について意見を出しあい、介護計画の作成をすすめることが望まれる。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護保険の有効期間内での見直しは行われているが、月々の状況確認は行われていない。 | ○ | 今後、毎月カンファレンスを開く等され、ケアプランの遂行状況や効果を評価し常に現状に合わせた介護計画の見直しができるような体制を作られることを期待したい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 受診については原則家族にお願いしてあるが、状況や家族の事情に応じて通院の介助をサービスで行うなどの支援をしている。 | | |

グループホーム陽気

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|--------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医院や病院も含め、それぞれのかかりつけ医の受診や往診を受けている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に介護度が重くなった時のためのことを考慮して特別養護老人ホームの申し込みについて家族に話をしている。ただ、ホームとしての方針は確立していない。 | ○ | ホームの方針を職員を含めて話し合い、そのことを利用者や家族に説明し要望や考えを聞きながら意思確認書を取り交わすなどされることが望まれる。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 管理者が機会を見つけて話はしているが、勉強会や話し合いをもつことはされていない。 | ○ | 個人情報保護法について勉強したり、日々の介護のなかでプライバシーを損ねる言動をしていないか意識的に話し合いを持つことを期待したい。 |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日のおおまかな流れはあるが、ゆっくりと時間を過ごし、話をしたり、散歩をしたりなど希望を聞いて過ごすようにしている。 | | |

グループホーム陽気

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|--------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備は、食事担当の職員が中心となって行っているが、献立の希望を聞いたり、台を拭く、食器を片付けるなどできることは行っている。食事は職員も一緒に楽しく食べている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は決まっているが、本人の希望を聞きながら、ゆっくり入ってもらえるように行っている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりに合わせて、洗濯物をたたむ、布団を干す、掃除、お茶を入れるなどやってもらっている。また、歌を歌ったり、ゲームをするなどして楽しんでいる。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 希望を聞きながら、できるだけ毎日近所を散歩するようにしている。散歩をしなくても、敷地内が広い(隣に教会がある)ので、教会へ行くなどしている。訪問時にも、何人かで行かしていた。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 帰宅願望の強い利用者がいて、何回かなくなり捜したことがあるため日中も不穏になると鍵をかけている。 | ○ | 居室と玄関の位置の関係もあり、把握しにくい面もあるが、安易に鍵をかけるのではなく、職員みんなでできるだけ鍵をかけることの意味、鍵をかけない工夫について話し合われることが求められる。 |

グループホーム陽気

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|--------------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年間に数回実際に地域の避難場所まで避難する訓練や、消火器の使い方の訓練を行っている。管理者が地域の防災訓練に参加して、地域に協力をお願いしている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日食事の摂取量のチェックや毎月体重の測定を行い、栄養状況を見るようにしている。 | ○ | 今後、1ヶ月位の献立表をメニューだけでなく材料も記入し、地域の保健師や栄養士に専門的な観点でアドバイスをもらうことを期待したい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | みんなでゆったり集まれる部屋は狭いが、1階、2階それぞれに利用者の部屋に集まってお茶を飲んだり楽しみごとを行う、必要に応じて教会の広間を利用するなど居心地よく過ごせるよう工夫されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 鏡台、テレビ、自分で描いた絵画、写真、カレンダーなど、それぞれに持ち込み、安心して過ごせる居室になるよう配慮されている。 | | |

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。